

第96回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2019年11月6日（水）18:30～20:00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 23名

3 会議内容

<新規提案>

（1）「ナマケモノになろう」の時間

【概要】

- ・現代人は時間に追われている。ナマケモノのように、時間を忘れる（気にしない）企画をしたい。
- ・交流フロアにシートを敷いて、ただ本などを読むだけの時間を過ごす。時計、スマホは禁止。
- ・時間は13時～17時ぐらいを想定しているが、なるべく時間を意識しないよう工夫したい。

【意見】

- ・時間と場所を区切って
- ・ブルーシートだと寒いし殺風景なので、ブランケットを使うなど何か工夫がほしい。
- ・「横になりやすい服装で」など、チラシに書いておいた方がよいのではないか。
- ・寝るのはNG。図書館なので時間を忘れて読書を楽しんでほしい。しゃべるのはエリア外で。

（2）防災つみっくイベント

【概要】

- ・等身大の積み木を重ねて、積み木でシェルターが作れることを子どもに学習してもらう機会を。
- ・保護者の方には、防災の知識として子どもを守る場所を考える時間にしてほしい。
- ・対象は3歳～12歳。保険に入らなくてもよいが、木が刺さると危ないので軍手を着用。

【意見】

- ・図書館なので、暴れたり騒いだりしてしまわないように注意したほうがよい。
- ・対象年齢が幅広いので、同時にイベントに参加しても大丈夫なのか要確認。
- ・上の学年の子たちだけが楽しんでしまわないような工夫が必要なのではないか。

（3）特殊詐欺防止セミナー～「私は大丈夫」が一番危ない。伊丹から特殊詐欺の被害をなくそう～

【概要】

- ・特殊詐欺の手口は年々巧妙になっており、伊丹は県下でも被害が多い。銀行と警察が連携して、特殊詐欺に引っかかりたくないための啓発イベントを行いたい。
- ・現役の警察官が、講義形式で行う。歳末に多い犯罪と対策も予定。
- ・対象は全年齢。高齢の方だけではなく、親子で聞いてもらってもためになる内容。

【意見】

- ・「自分は大丈夫!」と思っている人はスルーしてしまいがち。来てもらえる工夫が必要。
- ・銀行での「振り込み詐欺未然防止事例」など、事例紹介があればよいのではないか。

(4) 珠玉の人生～伊丹三樹彦さんの全仕事～

【概要】

- ・伊丹に縁があり現代俳句で有名な、伊丹三樹彦さんが9月下旬に亡くなられたため、その追悼イベントをことば蔵で開催したい
- ・対談形式で行う予定だが、参加者も巻き込んで対話していけたら面白い。
- ・追悼という意味では早い方がよいが、内容が膨らんできたのでじっくり温めて開催したい。
- ・イベントの様様、紹介した俳句を編纂して、ミニ句集ができないだろうか。
- ・伊丹三樹彦さんのお弟子さんもお呼びしたい。

【意見】

- ・伊丹さんの教え子の方にも参加して頂けたら、話題が広がるのではないかと。

(5) プラモデル作って飾って遊んで!

【概要】

- ・プラモデルは誰でも簡単に挑戦できる「ものづくり」である。一人で作るのももちろんだが、複数人で作ることも可能。また、作ったプラモデルを使用して団体競技にすることもできる。
- ・プラモデル工作を通して、同じ趣味を持つ同年代や多世代の仲間と交流する楽しさを伝えたい。

例) 模型製作教室→ 好きなプラモデルを持ってきてもらい、一緒に作ったり基礎をレクチャー。
 とんとん相撲→ 自分の作ったプラモデルを使って紙相撲を行うゲーム。
 ボードゲーム・合同模型展示会も行ってみよう。

【意見】

- ・プラモデルは作るのに時間がかかるが、子どもが対象だと長時間は難しいのではないかと。
- ・材料費は大丈夫か → プラモデルは自身で準備してもらう必要がある。
- ・全部やらなくても、試しに何か1つやってみてはどうか。

(6) 第100回記念 交流フロア運営会議に向けて

【概要】

- ・2020年3月に100回目を迎えるこの会議に合わせた企画を開催したい。
- ・第一部：継続中のイベントの紹介、第二部：継続中のイベントから一つ選んで実際に行う、第三部、未来に向けての三部構成で開催したい。

【意見】

- ・参加者から、100回目を記念した企画を開きたいという声があがるのが嬉しい。
- ・イベントの対象が気になる。どうしても内輪になってしまうのではないかな。
- ・ゲストを呼んではどうかな → 1回目の運営会議を知る人や、過去に在籍していた職員など。
- ・第一部から第三部のつなげ方がポイント。関連性を持たせる必要があるのでは。
- ・具体的な内容がまだ不確定であり、誰が何をするのかを明確にするのが第一関門ではないかな。

(7) 夫婦で知ろう！妊娠中から産後にかけてのママの体の変化<実施報告/次回に向けて>

- ・10月5日に初開催。参加者は産前の夫婦2組と産後の夫婦2組だった。
- ・妊娠中と産後の話をそれぞれもう少し区切ればよかった点と、女性目線で話しすぎた点が反省点。
- ・バスタオルを使った骨盤底筋のトレーニングは、参加者に伝わりにくかった様子。次回はこのトレーニングを実施しない。

【意見】

- ・なるべく多くの方に知ってもらうために、広報やチラシの配布場所を工夫できないかな。

(8) 第16回 ことば蔵で風流を<実施報告>

- ・参加者は66名。今回は春日丘の方に舞踊（花柳流/山姥）を依頼し、とても好評だった。
- ・同じ町内から来てくれた人が多かったように感じる。

※発案企画が多かったため、イベントの実施報告は一部省略しています。ご了承ください。

4 次回の運営会議 2019年12月4日(水) 18:30~ 図書館ことば蔵1階交流フロア